



## ●学校経営の基本理念

「自ら『自己実現』をめざす宮山の子」の育成を目指し、「共有と徹底」「助け合い・励まし合い」を基本方針として

- 1 教職員の連携を大切にして、組織的な活動を推進します。
- 2 研究を核にして、授業を通して児童の資質・能力の育成を図ります。
- 3 生徒指導上の課題を共有し、すべての教職員が自分事としてできることを考えます。
- 4 教職員で議論することを大切にし、共通理解を徹底して決めたことは実践していきます。

## ■目指す学校像

- 1 子どもの命を守り切る学校。
- 2 教育者としての職務を自覚し、専門性を高めるとともに働き方改革をすすめる学校。
- 3 校種間連携・接続を推進する学校。
- 4 「困り」を抱える子ども一人ひとりに寄り添う学校。
- 5 保護者・地域との連携・協同を推進する学校。
- 6 関係機関など社会と連携した総合的・継続的な支援を展開する学校。



## 学校教育目標

「やさしく たくましい心で高め合い、自ら『自己実現』をめざす宮山の子」



「コツコツ」努力を続ける子



「パチパチ」拍手がおくれる子



「ニコニコ」笑顔がすてきな子

ねらい

### 組織的指導体制の充実

- 低、中、高学年の学年部単位での取組、研修、児童情報交換の推進。
- 若年教員研修会の充実。

### 学力向上に向けた取組の充実

- 通級指導、専科指導、補習等による学力向上の推進。
- 各種学力実態調査の分析による基礎・基本の徹底。
- 家庭学習の定着。
- 読書活動の充実。

### 教職員の意識の向上

- 教職員自らの目標設定と自己研鑽。
- 子どもの学びを最後まで見取り、評価する意識の向上。
- 児童の背景の捉えによる課題探究型の解決法の実践。
- 家庭との積極的な連携。

### 児童の規範意識の向上

- 道徳の時数確保と授業の充実。
- 「公共の精神」に基づく態度の育成。
- 朝会や児童会活動を通じた発信。
- 手本としての教職員の関わり方や共通理解。
- 保護者との連携によるルールの順守の徹底。

### 働き方改革の推進

- 校内の人材の有効な活用(校務支援員、学生ボランティア)。
- 年休取得の推進。
- 学校行事や取組の見直し。
- 業務終了時刻の徹底。

### 地域との連携

- 学校運営協議会を核とした地域組織、団体と連携した教育の推進。
- 地域人材の有効な活用。
- 災害に対応安全・安全な地域の核となる学校。

## ■オープン化

- 経営方針、実践の日常的な発信と交流。
- 子供・保護者、教職員相互の相談体制の充実。

## ■システム化

- 各部会を機能させた課題探究型の学校運営。
- 各部会の連携による協同的な課題解決。

## ■ネットワーク化

- 学校運営協議会を中核にした教育支援ネットワークの構築。
- PTAや社会教育関係団体、関係機関等との連携の拡大。